

## 巻 頭 言



この度、「京都大学低温物質科学研究センター誌」第1号を発行することになりました。平成14年4月に京都大学低温物質科学研究センターが設立されました。本センターは、昭和39年度にヘリウム液化機が京都大学に初めて設置された時に学内措置共同利用センターとして発足した極低温研究室と、理学部附置分析機器センターを統合してできた低温物質科学研究センターであります。センターは吉田キャンパス、宇治キャンパスに加えて、移転が始まりました桂キャンパスを含めた全学の寒剤供給などの研究・教育支援業務を行うと共に、センターの4研究部門（先端低温基礎部門、分子性材料開拓・解析研究部門、学際低温応用部門、低温機能開発部門）を中心にした低温物質科学の広範な研究を推進・発展させていきたいと考えております。

極低温研究室発足した時からその機関誌として「極低温研究室月報」が発行されて来ましたが、昨年度末の79号でその使命を終え、本センター発足を機会に新しく「低温物質科学研究センター誌」として生まれ変わりました。この間、低温科学も大きく拡大・発展し、低温物質科学の分野のみならず、エネルギー工学などの低温応用研究、極低温電子顕微鏡による蛋白質構造解析、SQUIDによる脳生態研究など極低温環境を利用した先端計測機器の開発と学際領域へ広がり、それに伴って本学の極低温環境を利用した研究分野や研究者数は急激に増大しました。

本研究センター誌は、研究ノート、実験技術メモ、サロン、研究会や談話会の報告、運営委員会より、などの記事を取り上げます。本創刊号では特別に、平成14年9月25日に開催されたセンター開設記念シンポジウムの講演概要を掲載いたしました。本誌はセンターの情報発信誌としての役割のみならず、研究者相互の交流を通じての情報交換と交流促進に役立つ機関誌となれば幸いです。皆様方のご支援とご参加をお願い致します。

低温物質科学研究センター長

水崎 隆雄